

看護情報学	2年・後期	1単位	教授 豊田 修一
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121112

1. 授業のねらい・概要

看護・健康分野の情報化の急速な進展に伴い、この分野のデジタルデータの量は急増している。また、保健師・看護師にもICT技術の積極的な利活用が求められている。そこで、本講義では看護師・保健師活動におけるデータ利活用のための基礎的事項やデータサイエンスの考え方を教授する。さらに、文献検索やデータ集計の実際についても体験する。

2. 学修の到達目標

1. 地域看護・在宅看護におけるICTの利活用について理解できる。
2. 医療経済・診療報酬制度・データヘルス計画を看護師・保健師の立場から理解できる。
3. 医療・看護におけるデータサイエンスの考え方を理解できる。
4. 文献検索などにおいてPCを利用できる。

3. 授業の進め方

講義とコンピュータ演習を組み合わせるが、学生の主体的な取り組みを期待する。

4. 授業計画

1. 看護と情報	9. 健康日本21とデータヘルス計画
2. 地域医療連携ネットワーク	10. データサイエンス①(概要)
3. 遠隔医療・看護とICT	11. データサイエンス②(データ分析の例)
4. スマートフォンと健康管理(m-Health)	12. 量的データの分析(PC演習)
5. 医療安全とICT	13. 質的データの集計(PC演習)
6. 保健・介護関連システム	14. 文献検索(PC演習)
7. 看護と診療報酬	15. まとめ
8. 医療経済と病院管理	

5. 成績評価の方法・基準

定期試験(受験資格は3分の2以上の出席した者)80%、提出物20%で、総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト: 1) 権沢一之, 豊田修一「医療情報学入門第2版」共立出版 978-4320124318
2) 高木廣文「ナースのための統計学」医学書院 978-4260007726

参考文献: 1) 杉本真樹「ITが医療を変える」アスキーメディアワークス 978-4048862172.
その他適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲の予習及び授業内容の復習で60分程度の学習を行なうこと。

8. 受講上の留意事項 (先修条件がある場合は8.に記入する)

なし

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に解答などを説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

「看護の統合」に区分される選択科目である。